

平成22年度 石井小学校：「学力・学習状況」改善プラン

1 現状・課題

学 力	<p>昨年度は、国語・算数を中心に、「基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得させ、それらを活用する力の育成」を目指した。算数では、全学年で朝のドリルの時間を設け、発達段階に応じた計算問題の反復練習を中心に実施した。その地道な積み重ねの結果、多くの児童が着実に力をつけてきている。しかし、基礎的・基本的な知識・技能は身に付いているが、活用する力が上がったとは言えず、課題が残った。国語では、算数と同様に朝のドリルの時間を中心に、習った漢字をもとにドリル学習を実施し、効果をあげている。しかし、ドリル学習には意欲的でも、長文読解には消極的で、長文を見ただけで拒絶反応を示す児童もいる。児童に学力差があり、個々の児童の能力に配慮することも視野に入れながら、まず、読書に親しみ、その過程で話す・書くなどの言語活動の充実に力を入れていかなければならない。</p>
学 習 状 況	<p>昨年度は、「家庭学習習慣の確立」に重点を置き、児童の発達段階に応じた一日の家庭学習の時間を確保することを具体的目標として取り組んできた。全学年で、目標を達成することができた。しかし、宿題をしてこない児童が全くいないのではない。そのような児童にこそ、十分な指導が必要であり、家庭と学校がしっかりと連携を図りながら、家庭学習習慣が身に付くよう努めなければならない。</p>

2 目標等

(1) 学力について

重点目標：基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得させ、それらを活用する力の育成を目指す				
具体的目標	数値目標	具体的方策	評価	改善点
<ul style="list-style-type: none"> ・四則計算の技能を高める ・考える力の育成に努める 	低 90% 中 85% 高 85%	<ul style="list-style-type: none"> ・朝のドリルを継続し、学期末ごとに評価テストを実施する。 ・各学年で、児童の発達段階に応じた思考力の育成に重点を置いた授業を展開する。 	4・3・2・1	
				<ul style="list-style-type: none"> ・「読む・話す・書く」活動の充実を目指す

(2) 学習状況について

重点目標：「家庭学習習慣」の確立				
具体的目標	数値目標	具体的方策	評価	改善点
一日の家庭学習の時間を確保する (1年 20分, 2年 25分, 3年 30分, 4年 40分 5年 50分, 6年 60分)	低 95% 中 90% 高 85%	<ul style="list-style-type: none"> ・低学年では教師が、高学年では児童が毎日家庭学習の状況を記録し、それをもとに状況把握する。 	4・3・2・1	

※評価欄の上段には、各具体的目標における数値目標の達成状況について記入する。下段には、達成状況を「4 十分できた 3 概ねできた 2 あまりできなかった 1 できなかった」で判断し、該当番号に○を付ける。